

# 自分の命は自分で守る

まもなく、東日本大震災の発生から15年が経ちます。  
 この震災では、地震被害だけでなく、地震に伴う大津波、原子力発電所事故等いくつかの被害をもたらし、多くの尊い命が奪われました。  
 また、最近では青森県東方沖を震源とする震度6強の大地震が発生するなど、大きな地震が全国各地で発生しています。  
 いつ起こるかわからない自然災害に備えるために、「自助」の意識向上に向けて、自分の命を守るために何ができるか考えてみましょう。

☎危機管理課 ☎内線241・244

## 備えあれば憂いなし！

災害時に生命を守るための基本事項です。ライフラインや物流が一定期間機能しないことを想定し、「個人の備蓄」をしておきましょう！

### 非常用持ち出し品

避難の際に必要なものは1人1人違うので、自分に必要なものを両手の自由がきくリュックなどにまとめ、なるべく軽量でコンパクトにして、持ち出しやすい場所に用意しておきましょう。

### ローリングストック

最低3日  
できれば1週間分

普段の買い物の中で食料品などを少し多めに購入し、消費したら消費した分補充することで、常に備蓄をしておきましょう。

## 防災の知識を深め、災害に備えましょう！



ぜひ、この機会にご参加ください！

### 防災講演会

#### 「日頃からの災害への備えについて」

- 講師 沼田 宗純 氏 (東京大学生産技術研究所 准教授)
- と き 3月15日(日) 13時半から15時まで
- と ころ 保健センター2階研修室、ZOOM
- 定 員 50名
- 費 用 無料
- 申 込 み 電話または町ホームページ
- 申込期間 3月2日(月) 午前10時から 3月11日(水) まで
- ※定員になり次第終了

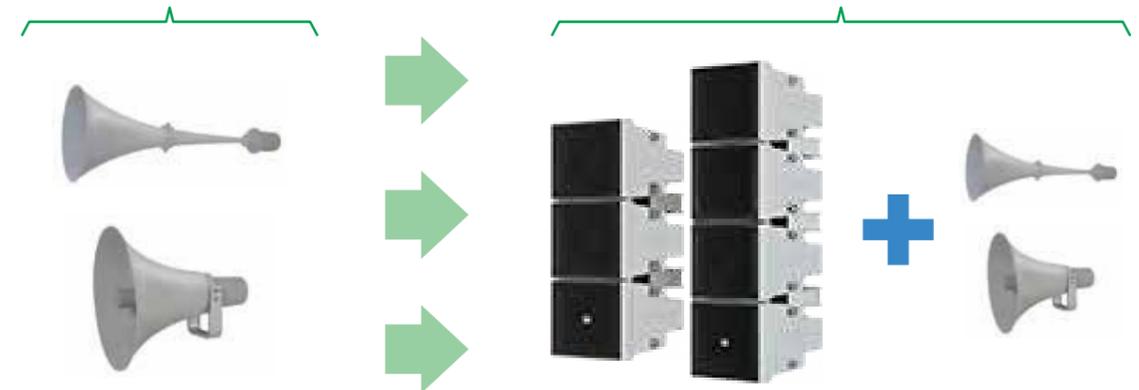
# 防災行政無線が新しくなりました！

これまで運用していた防災行政無線は、平成19年度から20年度に更新を行いましたが、18年が経過し、老朽化が進んでいました。  
 また、地域によって音が聞こえづらい、スピーカーの直下で音が響くといった以前から抱えていた課題もありました。  
 防災行政無線は、町民の皆様のいのちを守るために必要な災害情報や避難情報、国民保護に関する情報を発信する非常に重要なツールです。  
 これまでよりも聞こえやすい防災行政無線システムを構築するため、老朽化した機器の更新とともに、従来のトランペット型に加えて、音がクリアで聞き取りやすい「高性能スピーカー」を導入することで音が届く範囲を拡大し、音が聞こえづらい地域の課題解消を図りました。

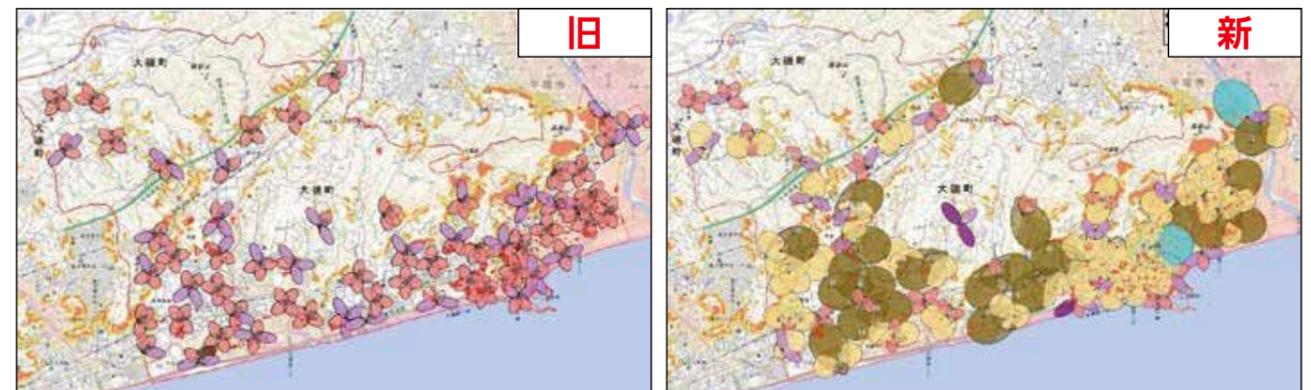
## 新しくなった防災無線

旧(従来型) 236台

新(高性能型93台+従来型76台)



## これまでと更新後の音が届く範囲の比較



※高性能スピーカーの導入により、これまで60か所236台あったスピーカーを51か所169台に数を縮小した一方で、これまでよりも広範囲に音が届くようになりました。